

経済統計 練習問題

第11回 家計に関する統計(1)

2018年11月7日

問1 以下の文章を完成させよ。

家計調査は、被調査世帯が毎月 _____ をつける調査で、消費費目についての詳細なデータを得ることができる。

しかし、この調査結果は実際の消費支出よりも少ないといわれている。その原因としては2つ考えられる。

1つは _____ をつける調査であるため、被調査者の負担が大きく、

_____ ということがおこる。

もう1つは6ヶ月間調査を継続するローテーションシステムのため、

_____ がおこる。

問2 家計調査の結果、ある月の1世帯あたりの可処分所得は30万円、消費支出は24万円、貯蓄純増が3万円であったとする。このとき以下の各問に答えよ。

(1) 平均消費性向を求めよ。

(2) 黒字率を求めよ。

(3) 平均貯蓄率を求めよ。

問3 以下の文章の の部分に、本日配布した資料「第2表 1世帯当たり1か月間収入と支出 2018年9月分」から読み取った数値を入れよ。ただし、「うち勤労者世帯」の数値を用いることとする。また、同じ数値が何度も使用されることもある。

2018年9月の消費支出は 円である。これは実支出から非消費支出を引いたものであるので、
 - として求められる。

一方、可処分所得は実収入から非消費支出を引いたものであるので、 -
= として求められる。

可処分所得は消費支出と貯蓄(黒字)の和であるので、 + とも表すことができる。

消費支出の可処分所得に占める割合が平均消費性向である。 ÷ =
として求められる。

貯蓄率は、貯蓄(黒字)を可処分所得で割ったものであるので、 ÷
= として求められる。